

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	32-1
PDCA	主要事業名	総合型地域スポーツクラブハウス改修事業	部課名	教育部スポーツ課	担当	石川	
					内線	422	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 2 - 2 単位施策： スポーツ 全体事業期間： 令和 4 年度 ~ 4 年度 全体事業費等： 115,896 千円 会計 一般会計 歳出科目： 09.06.02.05.50						
	事業概要等	事業概要： 成岩地区総合型地域スポーツクラブハウス（成岩ウイング）は開設からまもなく20年を迎えるため、施設の維持、耐久性を確保するための改修を実施する。					
		事業目的： 利用者が安全で快適に使用できる環境を提供する。					
		事業内容： 成岩地区総合型地域スポーツクラブハウス（成岩ウイング）の鉄骨・外壁の塗装及び浴場ろ過装置のタンク交換を行う。					
		問題点・課題等： 施設竣工からまもなく20年を迎えるため、備品や設備等の経年劣化による修繕箇所が増えており、計画的に修繕していく必要がある。					
	予算額	主要事業とする理由					
	96,646 千円	地域スポーツ推進の一環として、成岩地区総合型地域スポーツクラブハウスを改修することにより、スポーツ環境を整備するため。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費 96,646 千円	改修により、安心・安全なスポーツ施設として、施設使用者に快適な使用環境を提供することができる。					
	国費 0 千円	目標値や目指すべき状態					
県費 0 千円			令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	
その他 0 千円	学校利用分を除く使用者数	実績値	50,644	58,114	—	人	
		目標値	66,500	66,500	66,500	人	
		実績値					
		目標値					
D 実績値	決算額	得られた成果					
	94,525 千円	改修により、安心・安全なスポーツ施設として、施設使用者に快適な使用環境の整備ができた。					
		成果指標		令和4年度	単位		
	学校利用分を除く使用者数	実績値	60,069		人		
		目標値	66,500		人		
C 課題の整理	事業の評価・課題	C					
		使用者数について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けたR2年度と比較し、徐々に回復傾向にはあるが、感染症拡大前の使用者数（H30年度：65,946人）まで回復せず、目標を達成することはできなかった。 今後、コロナの終息により、使用者数増が見込まれるため、引き続きソシオ成岩スポーツクラブと連携を図り、よりよいサービスの提供を行う。					
A 課題後の決方向性	今後の事業の方向性	終了					
		施設の老朽化による修繕を計画的に行い、繁忙期を避けた工事期間の調整や利用者に対する休館情報の周知を的確に行うことで、利用率に影響が少ない効率的な運営に努めていく。 また、新規や固定の利用者を増やすために、指定管理事業者と定期的に打合せを行い、更なる利用者の増加に努める。					
		観点別評価	必要性		有効性		効率性
	①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減	ない	
	②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	余地		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある	

目標項目（予算計上時に作成）
予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用